

平成27年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標1	若い世代の結婚・出産・子育てを”支援(てご)”する
-------	---------------------------

	策定時	変更後
指標	出生数	
基準値	267人(H25)	
目標値	272人(H27～H31年平均)	

※基準値は、出生届の数(4月～3月)

◆評価方法

◎:非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)
 ○:相当程度効果があった(実績は目標を上回ることにはなかったが、目標の7～8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)
 △:効果があった(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)
 ×:効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)
 ※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)	結婚活動支援事業	結婚相談の実施、出会いの場の創出、婚活サポーター養成セミナーの実施等	継続	「はぴこ交流サロン」を通じた成婚数 基準値:0組(H26) 目標値:50組(累計)	1,572,679	成婚数2組	△	△	継続	定住企画課
2	(2)-①	子育て応援サイト事業	子育てに関する行政サービス情報等を広く情報発信を行うため、「子育てタウンママフレ」を活用する。	新規	(先行型交付金分) メールマガジン登録者数 0～5歳児家庭の400件 (年間出生数260*5年*30%)	2,332,800	WEBサイトアクセス数 18,071件 登録者数38件	△	△	継続	子ども未来課
3	(2)-①	一般不妊治療助成事業	不妊治療を受けた夫婦に対し、保険適用の一般不妊治療及び検査、人工授精の自己負担額の一部を助成する。	継続	助成件数 基準値:54人(H26) 目標値:60人(平均) (先行型交付金分) 利用者数(のべ)60件	1,628,300	利用者数(のべ)59件	○	○	継続	子ども未来課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(2)-①	がん対策事業	集団及び個別によるがん検診の実施	継続	子宮頸がん検診受診者数 基準値: 818人(H26) 目標値: 940人(平均)	28,608,845	子宮頸がん検診受診者数 1,060人 H27より妊婦健診における 子宮頸がん検診受診者数 (253人)も含む	◎	◎	継続	いきいき健康課
5	(2)-①	子育て講座事業	初めて子育てをする保護者の育児不安・ストレスの解消を図るため臨床心理士等による講座の開催	継続	はじめての子育て講座の受講者数 基準値: 41人(H26) 目標値: 40人(平均)	403,029	はじめての子育て講座の受講者数38人	○	○	継続	子ども未来課
6	(2)-②	子育て支援センター事業	育児相談、イベント・子育てセミナー等を実施する。	継続	子育て支援センター利用者数 (0～2歳児) ※つどいの広場利用者含む 基準値: 607人/月(H26) 目標値: 607人/月(毎年)	3,645,458	子育て支援センター利用者数 (0～2歳児) ※つどいの広場利用者含む 497人/月(H27)	○	○	継続	子ども未来課
7	(2)-②	ファミリーサポートセンター事業	育児に関する会員同士による相互援助活動への支援	継続	ファミリーサポートセンター利用者数(小学1～6年生) 基準値: 12人/週(H26) 目標値: 25人/週(H31)	6,200,000	ファミリーサポートセンター利用者数(小学1～6年生): 12人/週(H27)	○	○	継続	子ども未来課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
8	(2)-②	放課後児童健全育成事業	保護者が労働等により日中留守している家庭の小学生児童を預かり、児童の健全育成事業を実施	継続	放課後児童クラブ利用数 基準値: 275人/年(H26) 目標値: 416人/年(H31)	57,852,665	335人/年	○	○	継続	教育総務課
9	(2)-②	放課後児童クラブ施設新築事業	母里、南児童クラブを新築移転する。	継続	放課後児童クラブ数 基準値: 11箇所(H26) 目標値: 14箇所(H31)	47,672,280	13箇所(新設2箇所)	○	○		教育総務課
10	(2)-②	みんなで子育て応援事業	独自の婚姻届、子育て支援マップの作成、出生に伴う記念品の贈呈など	新規	利用者数300人	1,636,200	利用者数230人	○	○	継続	定住企画課 子ども未来課
11	(3)	外国語指導事業	市内の各小中学校及び幼稚園に外国語指導助手(ALT)を派遣し、児童・生徒の国際理解を促進する	継続	未就学児の英語に親しむ活動の実施率(定期的に外国語指導助手を巡回させる幼稚園、認定こども園の割合) 基準値: -%(H26) 目標値: 100%(H31)	16,638,687	未就学児の英語に親しむ活動の実施率31.3%	○	○	継続	学校教育課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
12	(3)	しまねの子育て協働プロジェクト事業	児童・生徒がふるさと安来の豊かな自然、歴史、文化に触れる各事業を実施	継続	全国学力調査の児童・生徒質問紙の回答の割合（質問：今住んでいる地域の行事に参加していますか） 基準値：小学生85.1%/中学生54.6%（H26） 目標値：小学生90.0%/中学生60.0%（H31）	6,845,600	全国学力調査の児童・生徒質問紙の回答の割合（質問：今住んでいる地域の行事に参加していますか）	×	×	継続	学校教育課
13	(3)	安来市ジュニアマイスタープラン	市内の各小中学校及び幼稚園に地域の講師を派遣し、地元の伝統文化に触れる学習の実施	継続		1,600,000	:小学生82.1%/中学生53.2%				学校教育課

平成27年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標2	産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する
-------	--------------------------

	策定時	変更後
指標	20代の社会移動	
基準値	-58人(H25)	
目標値	±0人(H27～31年平均)	

※基準値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

◆評価方法

◎：非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)

○：相当程度効果があった(実績は目標を上回ることにはなかったが、目標の7～8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)

△：効果があった(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)

×：効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)

※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)-①	ものづくり企業技術開発等支援事業	特殊鋼関連産業との取引拡大につながる開発経費、成長分野に進出するための経費の一部を補助	継続	企業誘致及び立地促進による新規雇用者数 基準値: 41人(H22～H26) 目標値: 100人(累計)	16,350,000	企業誘致及び立地促進による新規雇用者数: 35人 ・新技術等の開発や取引拡大の支援件数: 10件	◎	◎	継続	商工観光課
2	(1)-①	企業立地促進奨励金事業	企業等の新設、増設又は移転について、企業の投下固定資本に係る固定資産税を奨励金として交付	継続		7,166,020				継続	商工観光課
3	(1)-①	企業立地雇用促進奨励金事業	企業等の新設、増設又は移転について、増加固定資本総額、空き工場等の賃借料の一部、新規雇用者の人数に応じた金額を奨励金として交付する	継続		31,100,000				継続	商工観光課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(1)-①	工業団地整備事業	新規に工業団地を整備し、企業を誘致	新規		4,620,240				継続	商工観光課
5	(1)-①	ふるさと寄付推進事業	お礼の品を充実することで、特産品の販路の拡大と安来のPRを推進する	継続	ふるさと寄附の返礼品目数 基準値: 41品目 (H26) 目標値: 70品目 (H31) (先行型交付金分) 新規販路開拓5件	67,491,496	ふるさと寄附の返礼品目数 品目83品目 (同一商品で数量が異なる品目を引いた場合72品目) (先行型交付金分) 新規販路開拓10件	◎	◎	継続	定住企画課
6	(1)-②	新農林水産振興がらる地域応援総合事業	「やすぎ地域特産物の産地活性化と地産地消の推進」プロジェクトへの支援、新規就農者の施設整備への支援	継続	集落営農組織数 基準値: 49組織 (H27) 目標値: 59組織 (H31) 新規就農者数 基準値: 11人 (H20～H26) 目標値: 20人 (累計)	5,341,000	集落営農組織数 実績値: 53組織 新規就農者数 実績値: 2人 認定農業者数 実績値: 98組織			継続	農林振興課
7	(1)-②	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	農業協同組合が行うリース方式の園芸施設整備に要する経費への補助金交付	継続	認定農業者数 基準値: 102組織 (H27) 目標値: 121組織 (H31)	21,856,000		○	○	継続	農林振興課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
8	(1)-②	新規就農研修事業	就農希望者等への短期農業体験の実施、新規就農者研修への支援	継続		4,896,183				継続	農林振興課
9	(1)-②	林業活性化事業	高性能林業機械の導入及び木材の搬出経費の一部に補助金を交付	継続	新規林業従事者数 基準値: 3人(H26) 目標値: 15人(累計)	12,000,000	・新規林業従事者数3人	○	○	継続	農林振興課
10	(1)-②	みどりの担い手確保緊急対策事業	作業員就労条件整備事業、新規参入促進対策事業のメニューに合わせて補助金を交付	継続		3,000,000				継続	農林振興課
11	(1)-③	創業支援事業	創業・事業継承セミナーの開催、ビジネスコンテストの実施、チャレンジスペースの貸し出し、アドバイザーの雇用	新規	支援事業を通じた新規創業件数 基準値: 1件(H26) 目標値: 25件(累計) (先行型交付金分) 創業支援者数55件	9,288,000	・創業支援者数5件	○	○	継続	商工観光課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
12	(2)	誘客推進事業	月山富田城誘客推進、観光ボランティアガイド、公共サインの整備、観光施設のバリアフリー化及び多言語表示の実施	新規	観光入込客数 基準値: 140.5万人 (H26) 目標値: 145万人 (平均) (誘客推進事業分) 月山周辺観光施設(絣センター・歴史資料館)入込数20,000人	3,221,040	観光入込客数 H27 1,287,206人 (誘客推進事業分) 月山周辺観光施設(絣センター・歴史資料館)入込数30,382人	○	○	継続	商工観光課
13	(2)	新・ご当地グルメ開発事業	安来市の新しいスタイルのメニューの開発	新規	(新・ご当地グルメ開発事業) メニュー提供店舗数: 5店舗	3,240,000	新・ご当地グルメ開発継続中 参画店舗数: 6店舗			継続	商工観光課
14	(2)	安来節振興事業	安来節演芸館を核とした観光客へのPR、各種イベント及び普及宣伝事業の実施	継続		34,285,130				継続	商工観光課
15	(2)	インバウンド推進事業	米子ーソウル便、DBSクルーズフェリー や大型クルーズ船寄港等外国人誘致の実施	継続		1,171,280				継続	商工観光課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
16	(2)	やすぎ刃物まつり事業	ハガネの街安来のPR及び中心市街地活性化を図る	継続		8,733,498				継続	商工観光課
17	(2)	月の輪まつり振興会補助事業	花火大会、市指定無形文化財事業、仁輪加・安来節公演、自治会ステージへの支援	継続		6,000,000				継続	商工観光課
18	(3)	就労支援事業	企業と新卒学生との情報提供の場の設置、求職・求人サイトへの登録企業の拡充を図る	継続	求職・求人ポータルサイト「中海圏域就職ナビ」「中海圏域ワークネット」など登録事業所数 基準値：32社（H26） 目標値：100社（H31）	1,394,183	登録事業者数33社	△	△	継続	定住企画課

平成27年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標3	住環境を向上し、市民の定住意識を高める
-------	---------------------

	策定時	変更後
指標	30代の社会移動	
基準値	-71人(H25)	
目標値	+26人(H27～31年平均)	

※基準値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

◆評価方法

◎:非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)

○:相当程度効果があつた(実績は目標を上回ることにはなかったが、目標の7～8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)

△:効果があつた(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)

×:効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)

※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)	空き家改修補助事業	空き屋バンク登録物件の改修に係る経費の一部を助成	継続		841,000				統合	定住企画課
2	(1)	定住促進支援補助事業	新婚者、Uターン者を対象に中古住宅取得への支援、家賃助成を実施 市内で住宅を取得する者に対し、その経費の一部を助成(新規)	拡充	住宅支援の補助件数 基準値:3件(H26) 目標値:550件(累計) (3世代世帯定住推進支援事業分 先行型交付金分) 助成金活用市内定住者数45人	4,694,000	住宅支援の補助件数72件 (3世代世帯定住推進支援事業分 先行型交付金分) 助成金活用市内定住者数111人	○	○	統合	定住企画課
3	(1)	3世代世帯定住推進補助事業	三世代世帯、新婚世帯を対象に住宅取得、増改築に係る経費の一部を助成	新規		24,000,000				統合	定住企画課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(1)	空き家情報登録制度 (空き家バンク)	市内空き家の有効活用のため、所有者と入居希望者のマッチングを行う	継続	空き家バンク登録住宅の活用件数 基準値: 12件 (H26) 目標値: 50件 (累計)		0 空き家バンク登録住宅の活用件数15件 (H26から継続分含む)	△	△	継続	定住企画課
5	(2)	定住サポートセンター事業	定住に必要な仕事・住まい・生活情報を一元的に収集・提供すると共に、定住相談、定住後のアフターフォローの実施など定住対策のワンストップ化	新規	相談窓口を通じた移住者数 基準値: 28人 (H26) 目標値: 126人 (毎年) (先行型交付金分) 定住相談数100人 お試し住宅利用件数10件	7,280,792	相談窓口を通じた移住者数 68人 (先行型交付金分) 定住相談数172人 お試し住宅利用件数0件	△ ○	△ ○	継続	定住企画課
6	(3)	商業再生支援事業	空き店舗での出店に際し家賃及び改装費の一部を助成。中山間地域での店舗整備及び移動販売車購入に係る経費の一部を助成	継続	事業を利用した空き店舗への出店数 基準値: 2件 (H22～H26) 目標値: 10件 (累計)	3,602,000	支援件数 4件 うち空き店舗への出店支援2件	◎	◎	継続	商工観光課
7	(4)-①	自主防災組織支援事業	自主防災組織活動支援のための補助やリーダー育成のための講習会の開催	継続	自主防災組織数 基準値: 35組織 (H26) 目標値: 45組織 (H31)	784,000	35組織 (H27新規設立組織 0)	△	△	継続	危機管理課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
8	(4)-①	消防団体制の構築事業	消防団員の教育訓練等の実施。消防団施設整備及び体制の構築	継続	消防団員数 基準値:720人(H26) 目標値:720人(H31)	80,900,189	消防団員数709人 (H28.4.1)	○	○	継続	消防総務課
9	(4)-②	福祉専門学校就学補助事業	市内事業所の介護従事者が介護福祉士の資格を取得する際に事業主へ補助を実施	新規	福祉専門学校就学補助制度を利用した人数 基準値:-人(H26) 目標値:75人(累計) (先行型交付金分) 資格取得者数15名	1,080,000	福祉専門学校就学補助制度利用人数 3人 (先行型交付金分) 資格取得予定者数3名	△	△	継続	介護保険課
10	(4)-②	医師・看護師確保対策事業	将来市内医療機関等への従事を希望する医学生、看護学生へ奨学金を貸与	継続	医学生、看護学生奨学制度を活用して市内医療機関等に勤務する人数 基準値:4人(H26) 目標値:12人(累計)	2,304,300	奨学金利用者数:6名 市内医療機関等への勤務者数:新規2名	○	○	継続	いきいき健康課
11	(4)-③	がん対策事業【再掲】	集団及び個別によるがん検診の実施	継続	胃がん検診受診者数 基準値:904人(H26) 目標値:1,480人(H31) 大腸がん検診受診者数 基準値:1,945人(H26) 目標値:2,070人(H31)	28,608,845	胃がん検診受診者数 779人 大腸がん検診受診者数 2,235人	× ◎	× ◎	継続	いきいき健康課

平成27年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標4	多種多様で魅力的な”地域(じげ)”を形成する
-------	------------------------

	策定時	変更後
指標	安来市への愛着度	
基準値	62.3%(H26)	
目標値	70%(H30)	

※基準値は、H26総合計画のアンケート結果

◆評価方法

◎:非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)
 ○:相当程度効果があった(実績は目標を上回ることはなかったが、目標の7～8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)
 △:効果があった(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)
 ×:効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)
 ※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)-①	地域おこし協力隊事業	市外の人材を積極的に招致し、地域の活性化等を促進するとともに、その定住及び定着を図る	新規	地域おこし協力隊制度による移住者 基準値:-人(H26) 目標値:12人(累計)	7,214,342	地域おこし協力隊制度による移住者 4人(家族含む)	◎	◎	継続	農林振興課
2	(1)-②	新規就農研修事業【再掲】	就農希望者等への短期農業体験の実施、新規就農者研修への支援	継続	新規就農者数 基準値:11人(H20～H26) 目標値:20人(累計)	4,896,183	新規就農者数 2名	○	○	継続	農林振興課
3	(1)-②	みどりの担い手確保緊急対策事業【再掲】	作業員就労条件整備事業、新規参入促進対策事業のメニューに合わせて補助金を交付	継続	新規林業従事者数 基準値:3人(H26) 目標値:15人(累計)	3,000,000	新規林業従事者数3人	○	○	継続	農林振興課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(2)	地区交流センター活性化事業	各地区交流センター単位での地域活性化推進、地域ビジョンの作成、地域リーダーの研修派遣実施	新規	地域ビジョンの作成地域数 基準値:5箇所(H27) 目標値:24箇所(累計) 集落支援員の配置 基準値:-人(H27) 目標値:16人(H31) 交流センターでの「地域づくり」に関する講座開催数 基準値:各館平均1回(H27) 目標値:各館3回(毎年) (先行型交付金分) 地域づくり実践研修会参加者200名	1,768,866	地域ビジョン作成地域数:5箇所 交流センターでの「地域づくり」に関する講座開催数 今夏確定予定 地域づくり実践研修会参加者:243名	○	○	継続	地域振興課
5	(3)-①	生活交通ネットワーク再編事業	生活交通網の再編、地域コミュニティと連携した生活交通網の構築	新規	1便あたりの平均乗車数10人 連携事業3件	10,952,242	1便あたりの平均乗車数6.4人 連携事業実績 1件	○ ○	○ ○	継続	市民参画課
6	(3)-①	イエローバス運行事業	公共交通機関である生活バス路線の運行	継続	イエローバス利用者数 基準値:36万人(H26) 目標値:36万人(平均)	223,768,903	イエローバス利用者数332,633人	○	○	継続	市民参画課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
7	(3)-②	道路改良事業	道路改良事業	継続	道路改良延長 基準値：-km 目標値：13.0km(累計)	226,917,978	改良工事延長 L=890m	○	○	継続	土木建設課